

## 令和元年度土壤医の会全国協議会の事業計画について —土壤医の会の正会員を増やし活動を一層盛り上げる—

去る7月19日(金)に土壤医の会全国協議会の幹事会が開催され、昨年度の事業報告や今年度の事業方針や計画が協議され、了承されました。

### 1.土壤医の会を巡る状況

- ★土づくりの普及については、今後、農業者(含農業法人)、農業大生、JA職員等に重点を置いて推進する必要性が強調されました。
- ◆受験動向・人材育成を目的として実施してきている土壤医検定試験については、最近、企業関係者の試験申し込み者数が減少してきており、農業者(含農業法人)、農業大生、JA職員の数が増加してきています。今後、一層、若年層や農業者等の人材育成を促進していく必要があります。一方、こうした中で農業高校については試験申し込み者数が伸び悩んでおります。
- ◆資格登録者・土壤医の資格登録者数については、現在、3,548名と漸増傾向にあるが、特に2級や3級合格者の資格登録の比率が低く、今後、各種メリットをPRしつつ資格登録率を高め、正会員の増加を図っていく必要があります。
- ◆土壤医の会・資格登録者を中心とした土壤医の会は、平成30年度には新たに8組織(うち6組織が地域土壤医の会)が結成され、事業体土壤医の会数(13組織)と地域土壤医の会数(13組織)が同数となった。しかし、地域土壤医の会の組織化に関しては、土壤医の会のない空白地域が多く、これらの地域を中心に組織化を進めていく必要があります。
- ◆土壤医の会の活動・昨年度、「土壤医資格登録と継続研鑽に関する要綱」が改正され、小さな業績でも申請できるなど活動成果の拡大や社会貢献に向けた活動に重点を置かれるとともに、優良土づくり推進活動に対して表彰制度が設けられました。しかし、こうした制度の活用は十分でなく、土壤医の会の活動の活性化等の観点からも今後一層、取組みを促進していく必要があります。

### 2.活動方針

- ★幹事会では特に、現在、組織化されている土壤医の会正会員が全体として少ない状況なので、活動を盛り上げ、仲間に入ってもらう活動を強化し、正会員になってもらう重要性が強調されました。
- また、正会員数の増加が、全国協議会の財政基盤の強化にもつながり、昨年度から開

始した土壤医の会が行う特定事業に対する助成事業の充実など活動の活発化にもつながることが指摘されました。

特に正会員数の拡大については正会員になるメリットを多くの方に知っていただくことが重要であるとの指摘が以前からあり、それを整理した表の説明がなされました。(この内容については、添付資料を参照、協会の土壤医ウェブサイト上にも掲載) 幹事会で了承された活動方針の主な柱は次のとおりです。

## (1) 土壤医の会の正会員拡大と研鑽、交流活動の促進

### ① 会員以外の方をも対象とした研修会の開催

特に地域土壤医の会においては、会員以外の方(農業者、農業法人、農協、貸農園等 農業従事者等)をも対象とした土づくり研修会を行い、会の活動への参加を呼び掛ける。

### ② 土壤医の会の社会的評価を高めるための活動の推進

pH 等測定診断相談会等の広く土づくり普及のための活動を通じて土づくりへの関心を高めるとともに、土壤医の会の認知度を高めていく。

### ③ 事業体土壤医の会においてもオープン参加の研修会等を開催

研鑽機会に恵まれない資格登録者に対応して、事業体土壤医の会においてもオープン参加の研修会等を可能な限り開催する。また、事業体土壤医の会においても研鑽機会の拡大等を図るため、地域土壤医の会の行事に参加する等可能な限り交流していく。

## (2) 空白地域を中心とした地域土壤医の会の組織化推進

- ◆ 地域土壤医の会の組織化に関しては、土壤医の会のない空白地域を中心に組織化を進めていく必要がある。(特に東北、北関東、中国地域、南九州地域等での組織化が不十分。) このため、組織化の核となる方を中心に組織化がなされるよう支援していく。

## (3) 土壤診断を効果的に実施するためのデータベース整備の推進

- ◆ 土壤医資格登録者は、今後、一層、診断能力のレベルアップを図っていく必要がある。このため、昨年度から開始した適切な診断と処方箋を作成していくために必要なデータベースの整備事業をより充実させていく。(当面のテーマ:①作物生理障害と発生する土壤環境、②有効態リン酸と作物生育、リン酸減肥と作物収量との関係) 今年度は一層、このデータベースの整備を図るとともに、研修会等での活用を推進していく。

## (4) 土づくり活動成果の向上等優良土づくり推進活動の推進

- ◆ 昨年度の研鑽要綱の改正で、小さな業績でも申請できるなど CPD 単位が一層取得しやすくなるとともに、土壤医の会として一定の成果をあげた場合には関係した会員に CPD 単位が加算されるようになった。また、優れた活動成果を上げた土壤医の会会員

を表彰する制度もスタートし、今年度は、個人部門のみならず、土壤医の会部門でも表彰することとなっている。今後、小業績等業績申請の取組を拡大し土壤医資格登録者の社会的評価をも高めていく。

#### (5) 農業高校、農業大学校等への土づくり普及推進

- ◆昨年度実施した農業高校と農業大学校に対するアンケート調査結果から、特に農業高校では土づくりに関するカリキュラムが縮小してきている等の問題が明らかとなった。こうしたことから、協会と連携し、今年度は出前研修に前向きな回答のあった機関に対し働きかけてその推進を図る。

### 3.主な事業計画の内容

#### (1)全国交流大会の開催

- ◆多くの方の関心の高いテーマの講演、資格登録者や土壤医の会の優れた活動成果の発表、情報交流を主な内容とする全国交流大会を開催する。この中で優良活動の表彰式も行う。

今年度の全国交流大会は、令和元年11月7日(木)(1日の日程)に東京において開催する。

#### (2)地域重要問題研究会の開催

- ◆地域において重要な課題をテーマとして最近の研究成果や現地での取組み成果等を発表し、意見交換を行う地域重要問題検討会を行う。今年度は近畿土壤医の会と全国協議会との共催により兵庫県下で実施する。

(日程:令和元年11月26日(火)~27日(水))

#### (3)協会との共催による研修会などの開催

- ◆土づくり実践研修会について、中級・上級実践研修会は、全国協議会と協会との共催で、初級・中級実践研修会については、全国協議会、開催地の土壤医の会及び協会との共催により実施する。

今年度の初級・中級実践研修会の開催は、片倉コープアグリ土壤医の会と協会との共催で実施する。

(日程:令和元年11月30日(土)~12月1日(日))

場所:片倉コープアグリ(株) 筑波総合研究所)

(添付資料) 土壌医の会正会員とそれ以外の方との業務推進上のメリットの相違

★土壌医の会正会員と資格登録者やそれ以外の方の業務推進上のメリットの相違は、次の表のとおりである。資格登録者になると、名刺等に肩書が書けるとともに、研修会等の参加割引制度があり研鑽しやすくなる。さらに、土壌医の会に属していると、研鑽機会や交流機会が拡大するが、土壌医の会正会員になると CPD の申請や取得がやりやすくなるとともに、資格が活用される場面が広がってくる。

表 土壌医の会正会員とそれ以外の方との業務推進上のメリットの相違（総括表）

	資格登録無し		資格登録者	
	準会員以外	準会員	準会員とそれ以外	正会員
◆肩書(名刺等)	書けない	書けない	書ける	書ける
◆研修会等割引				
実践研修会等	割引なし	割引なし	割引あり	割引あり
土づくりフォーラム	割引なし	割引あり	割引あり	割引あり
◆CPD 申請・取得				
申請方式	-	-	個人申請	会一括+個人申請
申請手数料	-	-	有料	無料
単位付与	-	-	個人への単位	個人と会の活動により 正会員に単位付加
自己研鑽単位拡大	-	-	-	雑誌配布(PDF 含む)
◆業務の広がり				
活動表彰対象	非対象	非対象	非対象	対象
活動助成	非対象	非対象	非対象	対象
講師斡旋	非対象	非対象	原則非対象	対象
専門家リスト(農水省)	非対象	非対象	原則非対象	対象
*JICA 海外派遣斡旋	非対象	非対象	原則非対象	対象

\* JICA の土づくりに関する専門家派遣要請に対応し、土壌医資格登録者専用ウェブサイトを通じ公募し、斡旋している。平成 30 年度は多くの応募や問い合わせのあった中から 1 名を推薦し、ラオス国に派遣された。(平成 30 年度スタート)